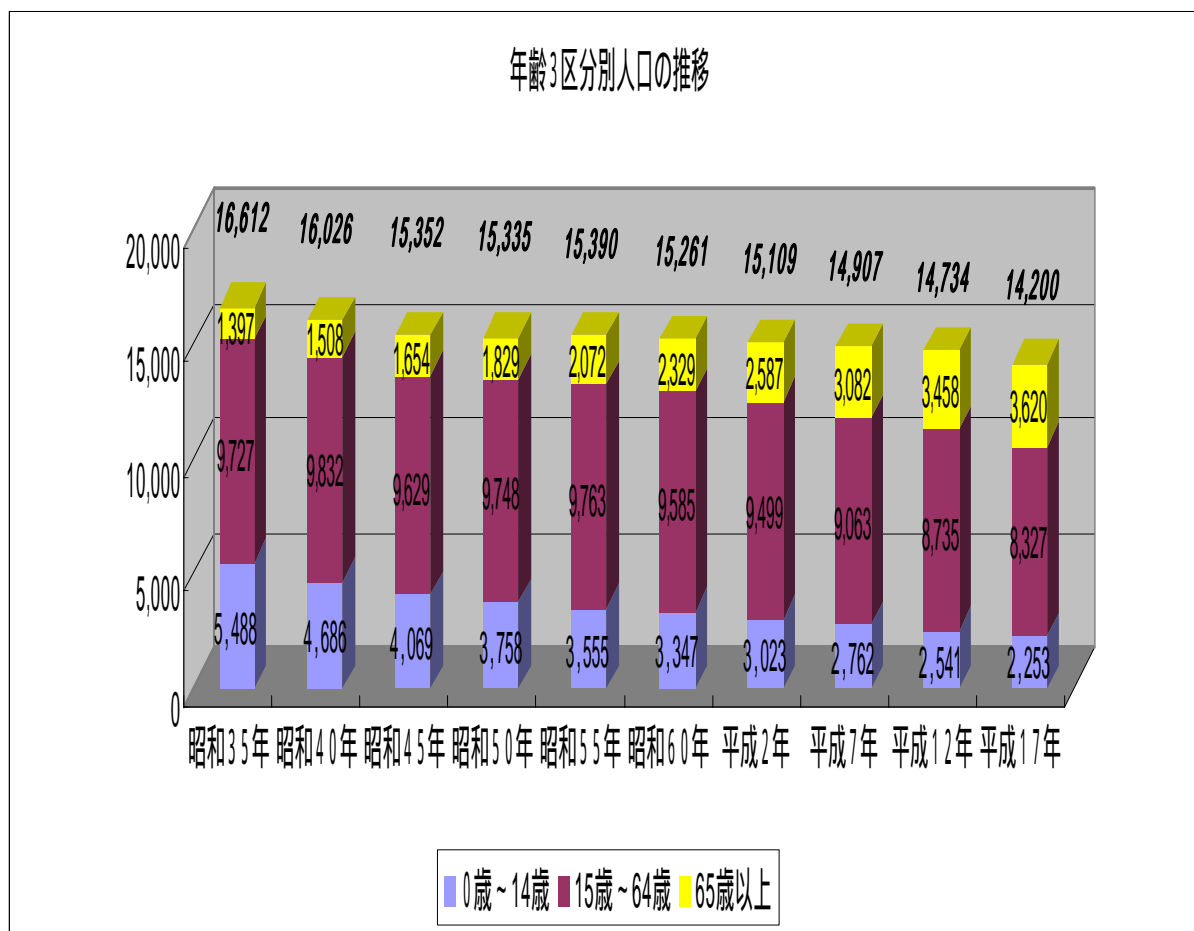
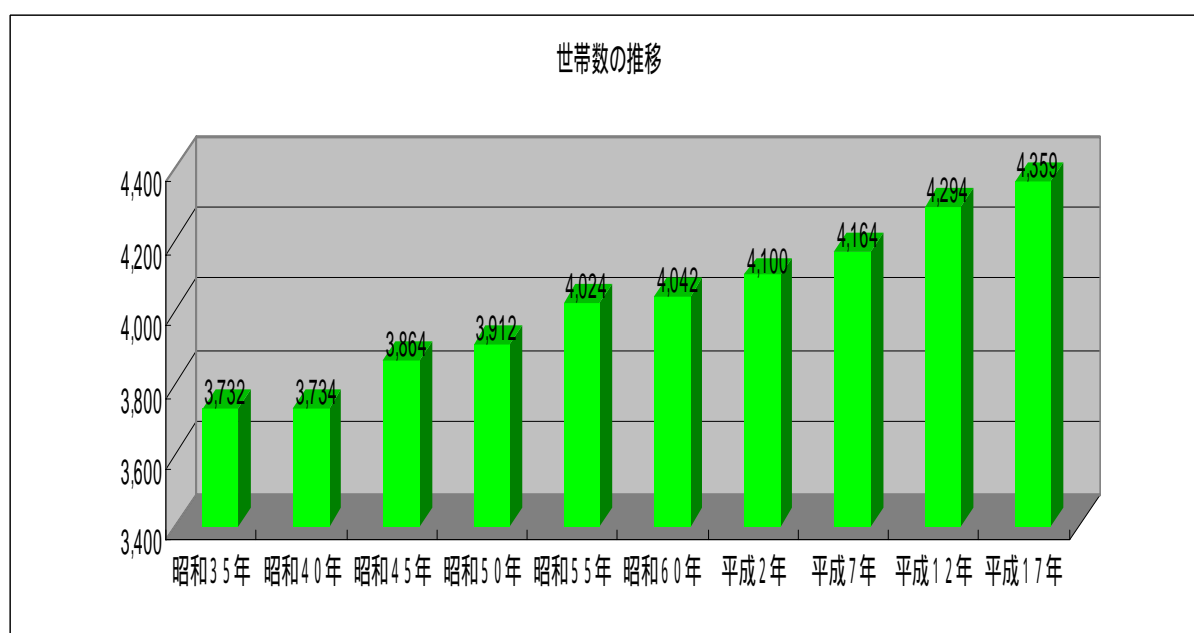


## 5. みなべ町における人口等基礎数値の推移



0歳～14歳までの子どもと、15歳～64歳までの稼働年齢層の人口が減少し、65歳以上の人口が増えています。

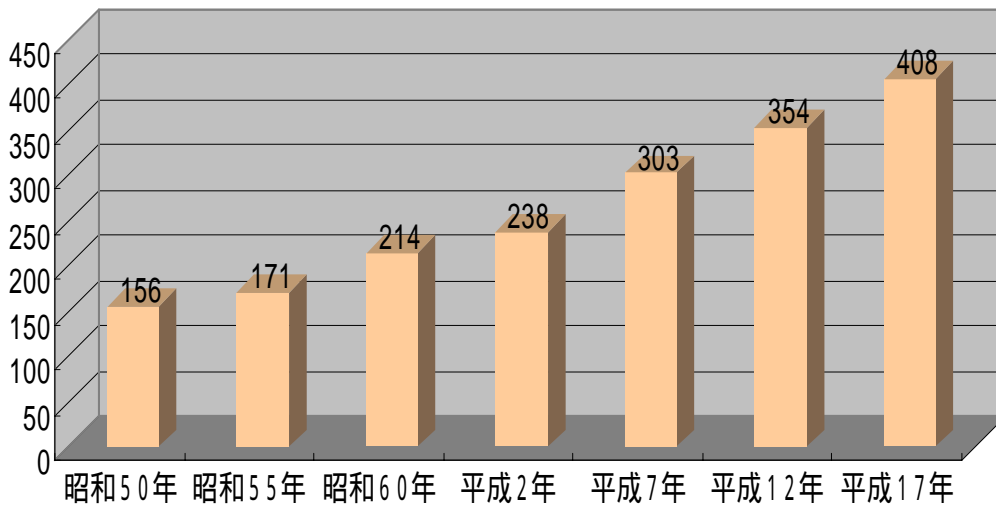
資料：国勢調査



町全体の世帯数は核家族化の進行等により、年々増加しています。

資料：国勢調査

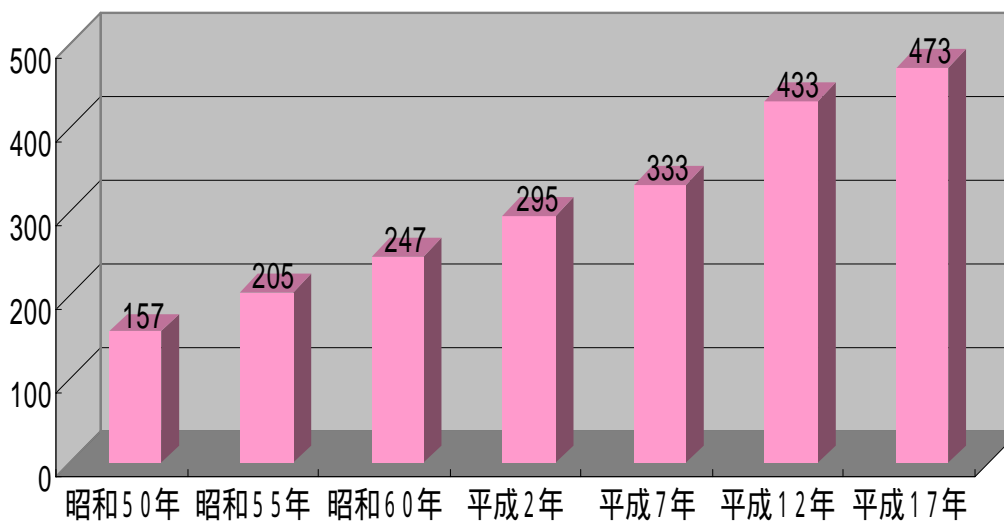
一人暮らし高齢者の推移



資料：国勢調査

一人暮らし高齢者は少子化と核家族化、若者の転出等により年々増加しています。

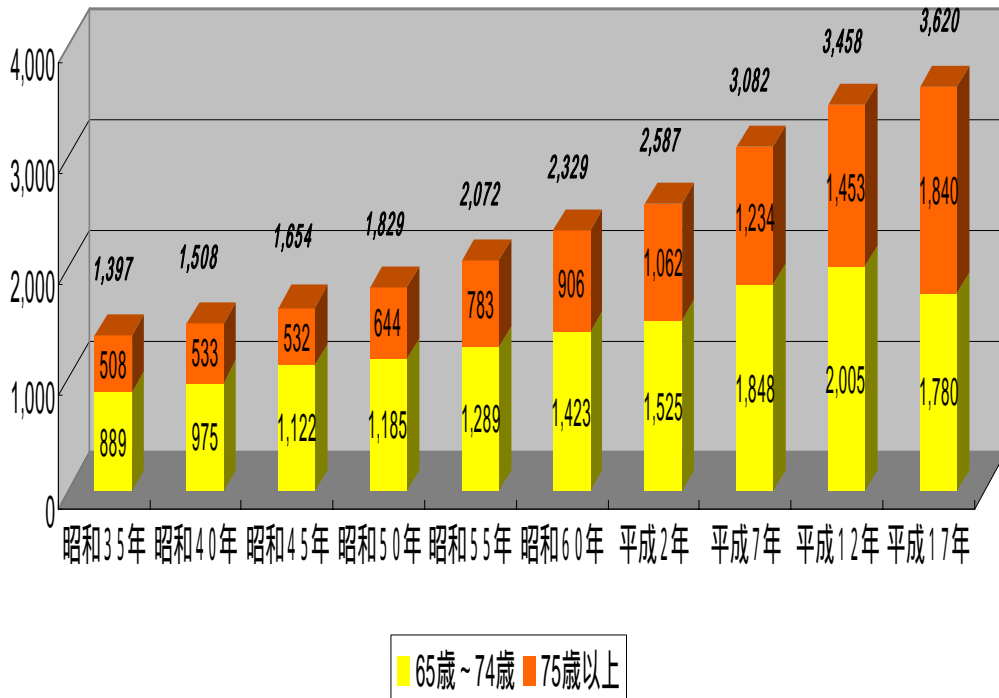
高齢者夫婦世帯数の推移



資料：国勢調査

高齢者夫婦世帯は少子化と核家族化、若者の転出等により年々増加しています。

高齢者人口の推移

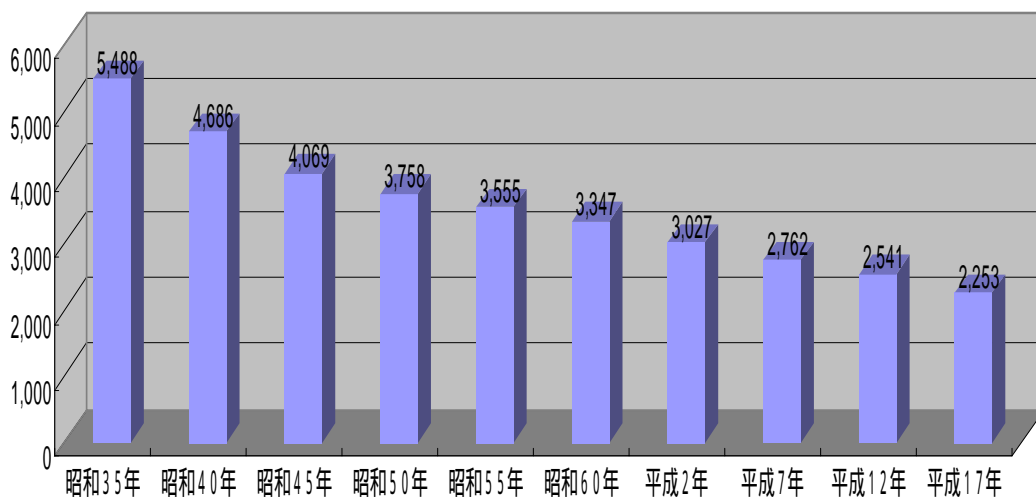


資料：国勢調査

65歳以上人口は平均寿命の伸び等により年々増加しています。

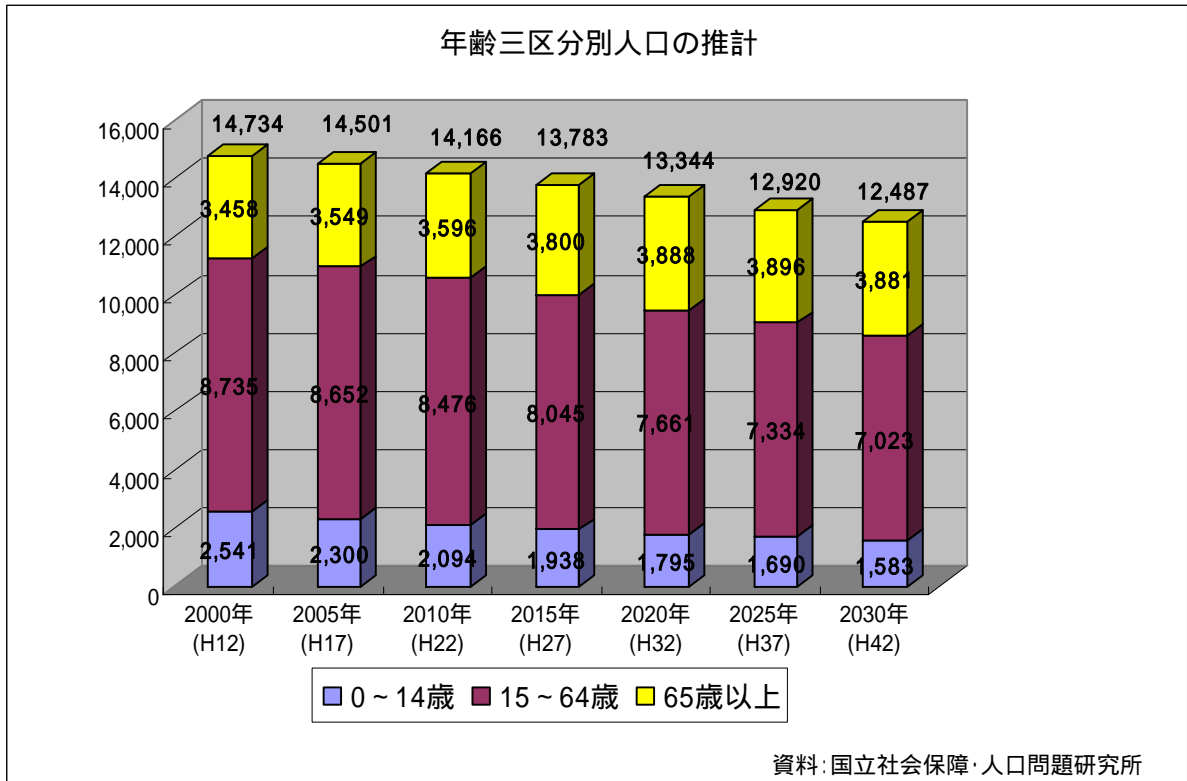
12年度から17年度にかけては65歳から74歳までの前期高齢者人口は減少していますが、75歳以上の後期高齢者人口は急激に伸びています。

0歳～14歳人口の推移

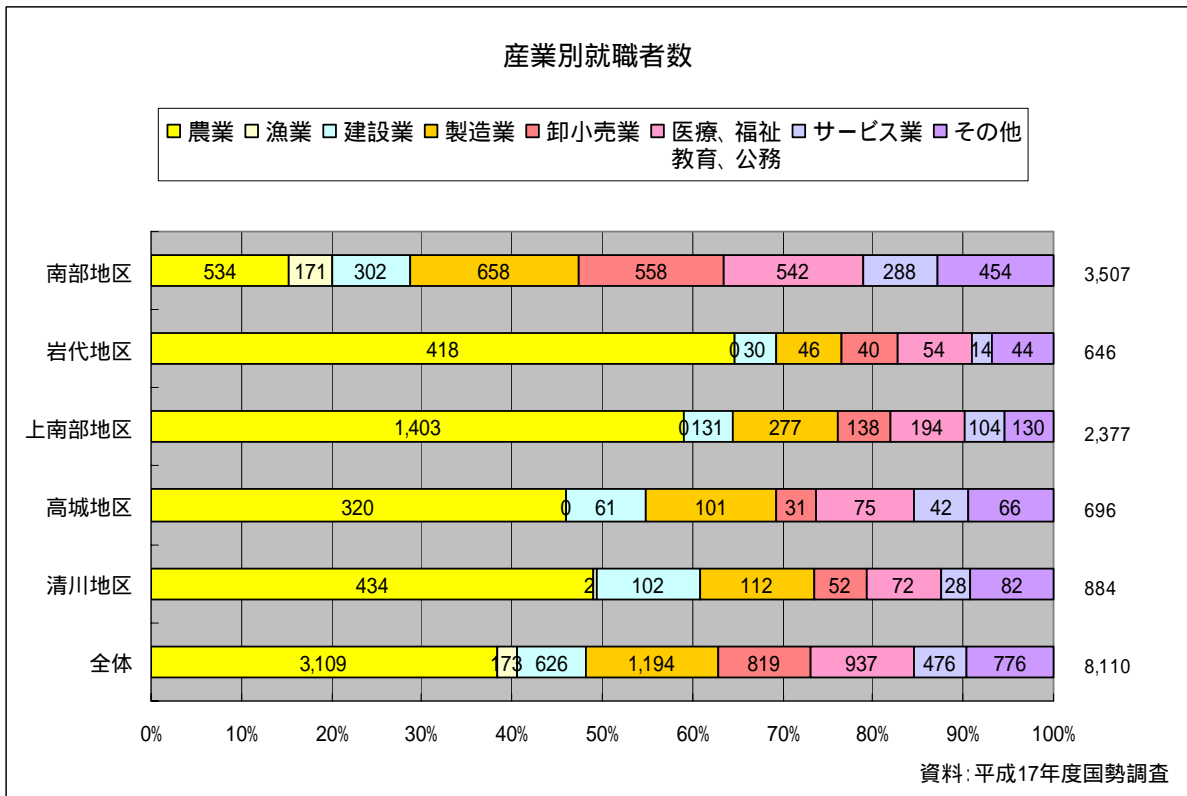


資料：国勢調査

0歳から14歳までの子ども人口は少子化により年々減少してきています。



国立社会保障・人口問題研究所の人口推計では、65歳以上人口は平成32年度までは増加し、その後は横ばいとなっている。15歳～64歳人口、0歳～14歳人口は今後もずっと減少となっている。



南部地区は人口密集地区で卸小売業のほか、製造業、サラリーマンなど、業種は多種にわたっている。岩代地区、上南部地区は農業従事者が約6割を占め、高城、清川地区は農業従事者が約5割となっている。